



# 多摩区結核通信



## ○昨年の多摩区の結核患者の動向○

- ・昨年の多摩区については、高齢者でない 65 歳未満の患者の届け出が全国と比べて多く、健診や、他疾患の治療時に発見されました。
- ・アフターコロナとして、人の密な集まりの増加、マスクをしない生活、海外からの移住者の増加等、結核の再拡大が懸念されます。

**多摩区の新規登録患者**  
26 人 (R4)  
(うち潜在性結核感染症 8 人)

★

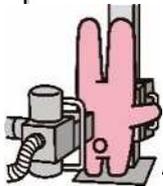
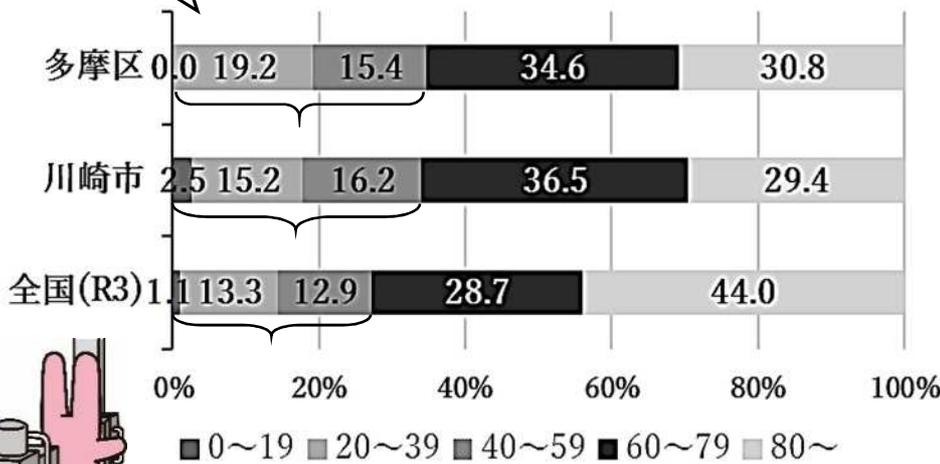
**川崎市の新規登録患者**  
208 人 (R4)  
(うち潜在性結核感染症 70 人)

★

**全国の新規登録患者**  
12,832 人 (R3)  
(うち潜在性結核感染症 1,313 人)

多摩区では昨年は  
60歳未満が3割超!!

年齢別新規結核患者登録者数 (R4)



## 免疫が低下する治療に注意!

ステロイドや生物学的製剤による治療で、結核を発症するケースがあります。検査結果を待つ間に悪化し、排菌する例もありました。

結核の感染が無いかなどの血液検査や、こまめな胸部 X 線検査、必要時には喀痰検査を実施し、早期発見・早期治療に御協力をお願いします。

## 毎年の胸部 X 線検査がとても大切です! 健診を受けましょう!

○結核健診(胸部レントゲン検査)について・年度に1度「結核健康診断月報」による報告を!

結核は2類感染症です。法律では「事業者(医療機関開設者、学校の長、施設の長)は従事者に対して毎年度、学校の長は学生又は生徒に対し入学した年度、施設の長は入所している者に対し65歳に達する日の属する年度以降毎年度、結核に係る健康診断(胸部X線検査)を実施し(法第53条の2)、保健所長を経由して市長に報告しなければならない(法第53条の7)」とされており、その年度で胸部X線検査を受けた人を確認し、報告してください。

患者発見の遅れ、ひいては事業所での集団感染を防ぐためにも、対象者が胸部 X 線検査を受けているか把握しましょう!

パート・アルバイト職員も対象です。  
他で受けた場合もカウントできます。



多摩区役所地域みまもり支援センター  
(福祉事務所・保健所支所)  
衛生課 感染症対策係  
TEL.044-935-3310  
FAX.044-935-3394